

## 次号予告

特集＝理学療法最近の進歩

- Biofeedback Treatment による治療..... 慶大リハセンター 溝呂木 忠・他
- Isokinetic Exercise 等速運動療法の実際..... 自治医大リハ部 谷 岡 淳  
——その効果について、特に末梢性——
- Isokinetic Exercise 等速運動療法の実際..... 九州リハ大校 嶋 田 智 明  
——その効果について、特に中枢性——
- 褥創の治療と予防..... 都老人研 山 田 道 広
- とびら 統合性との出会い..... 清瀬リハ学院 矢 谷 令 子
- 講座 行動療法 (1)..... 国立特殊教育研 東 正
- 運動学シリーズV：膝の運動学 (1)..... 兵庫リハセンター 山 下 隆 昭

精神科 OT の実際

- 異性問題 ..... 松山精神病院 藤 林 禧 史

研究と報告

- 大腿義足歩行の分析 (第1報) ..... 慶大リハセンター 灰田 信英・他

メディカルプログレス

- 血友病の整形外科的管理 ..... 帝京大整形外科 岩 倉 博 光
- 神経と筋との機能的連がり ..... 名大内科 真 野 行 生

## 編集後記

「脳卒中のリハビリテーション」, 「脳性麻痺のリハビリテーション」の特集について、第3弾の「運動療法」の特集をここにお届けすることができて大変に嬉しく思う。

編集にあたって、1966年、ノース・ウェスタン大学で開かれた運動療法に関して討議された、NUSTEP 会議の内容を特集した、“American Journal of Physical Medicine” をめざして期するものもあったが、執筆陣、紙数の制約から、運動療法の基礎から応用のすべてに亘ることはできなかった。

しかし、現在のわが国の水準の最高を示

す内容になったことは確かであるし、内容的にも充実したものになった。

総説はPTが担当し、中枢性障害、末梢性障害のそれぞれの分野を一応、全部網羅して、Dr., PT, OT がそれぞれ執筆した。

この特集が、わが国の PT, OT, Dr. に対して、運動療法の啓蒙的な役割と、現在の運動療法のレベルを知り、更に今後の運動療法を発展させるうえで、参考になれば大変に幸せである。

“運動療法の現状と問題点” が座談会で討論されているが、新旧のセラピストによって語られた内容は興味深いものがある。

最後にこの特集の執筆にあたられた30数名の方々に心から感謝する。

(松村 秩)

## <編集顧問>

天 児 民 和  
九州労災病院長

五 味 重 春  
府中リハビリ学院長

砂 原 茂 一  
国立療養所東京病院長

津 山 直 一  
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎  
川崎医科大学学長  
(五十音順、以下同じ)

## <編集委員>

上 田 敏  
東大リハビリ部

荻 島 秀 男  
都養育院リハビリ部

佐 藤 馨  
神奈川リハセンター

鈴木 明子  
府中リハビリ学院

谷 岡 淳  
自治医科大学

田 村 美枝子  
清瀬リハビリ学院

寺 山 久美子  
都心障センター

松 村 秩  
都養育院リハビリ部

## <編集同人>

明 石 謙  
大 井 淑 雄  
大 川 嗣 雄  
大 橋 博  
鎌 倉 矩 子  
紀 伊 克 昌  
小 林 夏 子  
駒 沢 治 夫  
佐 藤 剛  
田 原 澄 彦  
富 岡 詔 子  
奈 良 勲  
藤 沢 しげ子  
藤 本 欽 也  
前 田 守  
松 本 妙 子  
矢 谷 令 子  
山 下 隆 昭  
横 山 巖  
和 才 嘉 昭  
(担当 細田・松橋)